

日本弁護士連合会第65回人権擁護大会シンポジウム第1分科会

人権としての「医療へのアクセス」の保障
～新自由主義的医療改革から住民のいのちと
医療の現場が大切にされる医療保障改革へ～

配布資料目次

○シンポジウム第1分科会にご参加の皆さまへ	1
○進行次第	2
○登壇者プロフィール	4

人権としての「医療へのアクセス」の保障～新自由主義的医療改革から 住民のいのちと医療の現場が大切にされる医療保障改革へ～

シンポジウム第1分科会にご参加の皆さまへ

■録音・録画について

本シンポジウムは、会場参加及びウェブ配信となります。

当連合会において、シンポジウムの内容を記録し、また、成果普及に利用するため、会場での写真・映像撮影及び録音を行います。撮影した写真・映像及び録音した内容は、当連合会の会員向けの書籍のほか、当連合会のウェブサイト、パンフレット、一般向けの書籍等にも使用させていただきますことがあります。

また、報道機関及び動画配信サイト等による取材の可能性もあり、撮影された映像・画像はテレビ、新聞、ウェブサイト等の各種媒体において利用されることがあります

会場中央のカメラ機材の通路挟んで後方中央（中央14列・15列）に撮影禁止席を設けておりますので、撮影を望まれない方は撮影禁止席にお座りください。

■ウェブ配信について（オンライン参加の皆さまへ）

何らかのトラブルで通信が中断し、15分経っても復旧しない場合は、配信を中止する可能性があります。

また、配信媒体であるYouTubeLIVE 自体の障害が生じた場合、当初ご案内している配信URLを変更して配信を再開する可能性があります。変更後の配信URLが分かり次第、日弁連ウェブサイトに掲載いたします。

アクセスが一時的に集中すると接続が不安定になる場合があります。

配信の状況に関わらず、現地会場においてはシンポジウムを中断せず実施いたします。

■アンケートについて

当連合会の今後の活動に反映させていただきたいと思いますので、アンケートへのご協力をお願いいたします。下記URL又は二次元コードからアクセスしてください。

本シンポジウムでは、スケジュールの都合上、質疑応答の時間を設けておりませんので、ご意見・ご質問等がございましたらこちらへお願いいたします。ご協力のほどよろしく願います。

【URL】 <https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/jinshin1buna/comments/>

【二次元コード】



次 第

2023年10月5日（木）

日本弁護士連合会第65回人権擁護大会シンポジウム第1分科会

人権としての「医療へのアクセス」の保障 ～新自由主義的医療改革から住民のいのちと 医療の現場が大切にされる医療保障改革へ～

◆総合司会：椎谷 玲香（長野県弁護士会）
奈良崎真士（佐賀県弁護士会）

◆開会挨拶 大脇 美保（日本弁護士連合会副会長） 12：30

◆第1部 病院の入り口に立てない人々 12：35

特別報告 高田かおり（コロナ自宅放置死遺族）

特別講演 「医療から見た子どもの貧困」

和田 浩（飯田市健和会病院小児科医・

日本外来小児科学会子どもの貧困問題検討会代表世話人）

◆第2部 深刻化する医療へのアクセス阻害の現状と原因分析 13：20

基調報告 阿部 広美（熊本県弁護士会）

調査報告 折井 真人（沖縄弁護士会）

【休憩（10分）】（舞台配置換え）

◆第3部 地域の医療を守るために、医療費抑制策は必要か 14：30
～医療現場と医療経済学の視点から～

リレー講演 本田 宏（NPO法人医療制度研究会理事長・医師）
 俞 炳匡（早稲田大学人間科学学術院人間科学部教授・医療経済学者・医師）

<ナビゲーター>

尾藤 廣喜（京都弁護士会）

【休憩（10分）】（舞台配置換え）

◆第4部 コロナ後の地域住民の「いのちと医療」を守るために 15:50
 ～地域病院の統廃合、医療費負担、医療従事者の問題を中心に～

特別報告1 「コロナ禍後の医療提供体制の在り方」

 茂松 茂人（日本医師会副会長）

特別報告2 「佐久総合病院の歩み」

 由井 和也（佐久総合病院小海分院院長）

（舞台配置換え）

パネルディスカッション「地域医療構想、公立公的病院の統廃合、医療現場の医師・看護師不足、医師の働き方改革、SDH等」

<パネリスト>

 茂松 茂人（日本医師会副会長）

 本田 宏（NPO法人医療制度研究会理事長・医師）

 由井 和也（佐久総合病院小海分院院長）

 俞 炳匡（早稲田大学人間科学学術院人間科学部教授・医療経済学者・医師）

 和田 浩（飯田市健和会病院小児科医・

 日本外来小児科学会子どもの貧困問題検討会代表世話人）

<コーディネーター>

 滝沢 香（東京弁護士会）、黒田 啓介（滋賀弁護士会）

特別報告3 「医療従事者の労働実態」

 松田加寿美（日本医療労働組合連合会看護対策委員会事務局長・看護師）

◆閉会挨拶 山崎 秀隆（長野県弁護士会副会長） 17:55

閉会 18:00

登壇者プロフィール

人権としての「医療へのアクセス」の保障
～新自由主義的医療改革から住民のいのちと
医療の現場が大切にされる医療保障改革へ～

特別報告者

● 高田 かおり（たかだ かおり）

大阪府出身。2021年8月（第5波）に単身で沖縄で居酒屋を営んでいた弟がコロナ感染症により他界。アパートでベッドに横たわった状態で遺体で発見された。ベッドの横には充電の切れた携帯電話と、腐敗したお弁当が残されていた。医療にたどりつけず、看取られることもなかった弟の死を無駄にしてほしくない気持ちと、なぜ医療にたどりつけなかったのか？弟だけなのか？という気持ちから自宅放置死遺族会を立ち上げ、活動を始めた。

特別講演者・パネリスト

● 和田 浩（わだ ひろし）

長野県生まれ、1983年新潟大卒。飯田市健和会病院小児科医、社会医療法人健和会理事長。日本外来小児科学会「子どもの貧困問題検討会」代表世話人。共著「子どもの貧困ハンドブック」（かもがわ出版）、「シリーズ・子どもの貧困5支える・つながる—地域・自治体・国の役割と社会保障」（明石書店）、「格差時代の医療と社会的処方 病院の入り口に立てない人々を支える SDH（健康の社会的決定要因）の視点」（日本看護協会出版会）。

リレー講演者・パネリスト

● 本田 宏（ほんだ ひろし）

1954年福島県生まれ。弘前大学医学部卒、弘前大学、東京女子医科大学を経て済生会栗橋病院外科で26年間勤務、現在NPO法人医療制度研究会理事長、日本医学会連合労組環境検討委員会委員などを務める。著書に「誰が日本の医療を殺すのか」（洋泉社）、「医療崩壊はこうすれば防げる!」（洋泉社）、「医療崩壊のウソとホント」（PHP研究所）、「本当の医療崩壊はこれからやってくる」（洋泉社）、「がんになる性格、ならない性格」（廣済堂）、「Dr. 本田の社会保障切り捨て日本への処方せん」（自治体研究社）、「日本の医療崩壊をくい止める」（泉町書房）など。

● 俞 炳匡（ゆう へいきょう）

1967年大阪府生まれ。北海道大学医学部卒業後、国立大阪病院で臨床研修。1997年ハーバード大学より修士号（医療政策・管理学）、2002年ジョーンズ・ホプキンス大学より博士号（PhD, 医療経済学）取得後、2002-2004年スタンフォード大学医療政策センター研究員（2004年以降非

常勤研究員)、2004-2006年米国厚生省・疾病管理予防センター(CDC)エコノミスト。2006-2011年ニューヨーク州ロチェスター大学医学部公衆衛生学科助教授、2011年から2020年3月までカリフォルニア大学デービス校医学部公衆衛生学科(終身職)准教授として、医療経済学の研究と教育(大学院生を対象に医療経済学を講義・研究指導)に従事。2020年4月から神奈川県立保健福祉大学・イノベーション政策研究センター/大学院ヘルスイノベーション研究科教授(2023年4月から兼任)。2006年7月に「「改革」のための医療経済学」(メディカ出版;「日本経済新聞エコノミストが選ぶ経済・経営書ベスト20冊(2006年)」に選出;2021年3月に再刊行)を出版。2021年3月に「日本再生のための「プランB」—医療経済学による所得倍増計画」(集英社新書)と「「プランB」をもっと知るための10通の手紙—個人と社会の多様性を豊かにするために」(北東亜州出版)を出版。

特別報告者・パネリスト

● 茂松 茂人(しげまつ しげと)

大阪医科大学医学部卒。茂松整形外科院長。2015年春に藍綬褒章を受章。2016年6月から2022年8月まで大阪府医師会会長、2016年6月から2018年6月まで日本医師会理事を務め、2022年6月に日本医師会副会長に就任。

● 由井 和也(ゆい かずや)

医師。JA長野厚生連佐久総合病院小海分院院長。1992年秋田大学医学部卒業、研修医として佐久総合病院に入職。2003年小海診療所所長、2008年小海分院診療部長、2012年国保川上村診療所所長、2019年小海分院副院長兼診療部長を経て、2022年4月から小海分院院長を務め、南佐久地域の診療に尽力している。

特別報告者

● 松田 加寿美(まつだ かすみ)

2005年に看護師免許取得し、北海道勤労者医療協会に入職。2017年6月まで、急性期病院に勤務。2017年7月より労働組合の専従となる。日本医労連中央執行委員として、同年10月より日本医労連本部へ出向。2018年秋より日本医労連看護対策委員会事務局長となり、現在に至る。